

12 週 墮落した人の状態

質問 17. 墮落は、人類をどんな状態に落としましたか。

答え I 墮落は人類を、罪と悲慘の状態に落としました。

質問 18. 人が墮落した状態の罪性は、どの点にありますか。

答え I 人が墮落した状態の罪性は、アダムの最初の罪によって有罪となったこと、義が欠如していること、全品性が腐敗していること、これを「原罪」と呼ぶが、合わせて、原罪から出てくる、あらゆる実質的な罪です。

解説

アダムとエバの不従順は、人類を、どんな状態に落としましたか

アダムとエバの不従順は、彼らの状態と性質を変えさせてしまった。先ず彼らは、禁じられた善悪の実を食べた後、神の御顔を避け隠れました。彼らの行為は背教的で、自分たちの造り主である神を嫌うようになったことです。勿論、彼らは、自分たちの罪について、他のものに非難を回しました。これは正直でない証拠であり、卑怯な行為です。従って神が、彼らに向かって罪ある者と宣言されます（創 3:15-19）。そして人類に死が入るようになりました。これから人類は、死

を避けられなくなりました（ロマ 5:12, 17、6:23、ガラテヤ 3:10）。これが、アダムとエバの墮落が、人類を、罪と悲慘の中に落とさせたことです。

罪と悲慘は、不可分の関係にあります。なぜなら、罪がすべての悲慘の原因となるからです。従って、罪によって人類の悲慘は、世代を重ねるうちに更に増加され、結局、ノアの時代に神が洪水によって審判をなさるしかない状況に至ったのです。洪水以降、8人の家族から再び世代が継承され続け、人類は罪を犯しています。聖書では、このような状態を暗闇の状態（エペソ 5:8）、神から遠く離れた状態（エペソ 2:13）、罪の裁きと御怒りの下にいる状態（ヨハネ 3:18, 36）。奴隷の状態（イザヤ 49:24）、靈的に死んでいる状態（エペソ 2:1）と語っています。

悲慘な状態が与える意味

従って人類の中に、神が救おうと選んだ者たちがいます。その選ばれた者たちに、救いが实际的に有効に起こされる時は、必ず、同伴される過程があります。聖霊の御業によって、彼らが、自分の罪と腐敗性を悟るようになることです。それで彼らは、救いを渴望し、罪の奴隷となった所から抜け出たいと渴望するようになります。ここで重要なのは、聖霊の御業によって、自分の悲慘さを徹底して悟り、そこから救われたいと渴望しなければならないことです。

人の墮落の状態

人の墮落の状態の罪は二つです。一つは原罪、もう一つは实际的な罪です。原罪は三つとして構成されます。アダムの罪、義の欠如、そして全品性が腐敗していることです。

アダムの罪は人類に転嫁されました。アダムの最初の罪に、全人類が同参するようになったことです。義の欠如とは、心の中に靈的な知識がないだけでなく、

意志と思想の中に、善を行おうとする意志がないことです。それだから、神の律法を移行することができなくなりました。そして、全品性が腐敗されたというのは、心が汚染されて、心霊が罪に偏ってしまい、感情は、無秩序と怒りと憎悪でいっぱいになり、体も罪の道具となってしまったことです。

人は生まれながら原罪の三つの要素を持っています。従って人は、原罪そのままでも、神の審判を受けるのに十分です。原罪は、罪と悪の源泉となって悪を行わせるが、それも休みなく罪を犯させます（創6:5）。

墮落した状態の範囲

原罪によってすべての人が腐敗しました。これは、すべての人の、すべての領域で起こりました。体と靈魂の機能にも影響を及ぼします。理解力と意志と情緒に、その腐敗性が居座っています（ロマ3:10, 12, 23, 8:7、エレミヤ4:22、Iコリント2:14、ホセア11:7、ヨハネ5:40、テトス1:15）、このような腐敗性は、まして靈的に優れた人にも表れるということです（エレミヤ17:9、マタイ26:69-75、IIサムエル11章、ヨナ1章、創9:21、II列王8:12）。

実的な罪

人は、このように原罪から来る、あるいは、腐敗性と罪性によって実的な罪を犯します。これを自らの罪と呼びます。墮落した性質の中に、悪い考えと欲望などが目的を形成し、それによって実的な罪を犯します。結局、アダムの子孫として罪を犯さない人は、一人もいません。罪に対する審判は当然です（ロマ3:20）。従って人は、罪に対する神の審判を避ける道を探さなければ、結局、滅びに至ってしまいます。それで早くから、神はアダムに、救いの道を約束なさったのです（創3:15）。そして神は、天からの品性の変化が、必ずなければなら

いことを語られた（エゼキエル 36:36、ヨハネ 3:3、5）。それでこそ、腐敗された性質から救出され、聖なる生活が可能になれるからです。